



新年を迎えて

～地域との連携～



めたばる

九州補給処長 兼ねて

目達原駐屯地司令

陸将補 佐藤 洋



目達原駐屯地の各隊員及びご家族の皆様、また日頃よりご支援いただいております関係協力団体・地域住民の皆様、明けましておめでとうございます。昨年12月22日付で東北方面総監部幕僚副長から九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令を拝命致しました、佐藤将補です。今後も引き続き地域との連携を一層強化し、地域の皆様に信頼される駐屯地となれるよう様々な取り組みを行って参りますので、変わらぬご厚誼のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、ロシアによるウクライナ侵略が依然として継続する中、中国は力による一方的な現状変更やその試みを推し進め、北朝鮮はかつてない高い頻度で弾道ミサイルを発射するなど、我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しております。

また、国内においても、新年早々に発生した能登半島地震により甚大な被害がもたらされており、全国の自衛隊の部隊が災害派遣活動に従事しておりますが、目達原駐屯地からも西部方面後方支援隊の隊員約30名が、1月5日、能登半島の被災地に向けて出発し、本挨拶執筆時点においても現地での活動を継続しております。

このような国内外の厳しい情勢の中、九州、南西地域の兵站の中核であるとともに、北部九州における航空部隊の中核である目達原駐屯地の役割は益々重要となっております。このため目達原駐屯地の各隊員は、それぞれの専門分野に関するプロ意識をもって各種課題の解決を図るとともに、皆様の期待に応え続けられるよう各種任務の遂行に備え、様々な訓練・演習等に励み、能力の向上を図る等、日々前進を続けて参ります。

本年も目達原駐屯地の全隊員は、佐賀県唯一の陸上自衛隊の隊員としての誇りを胸に、強い責任感を持って責務の完遂に努め、地域に愛され頼りになる駐屯地を目指して、日々邁進して参る所存です。

皆様にとりまして本年が昇り竜のごとく飛躍する幸多き素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

駐屯地部隊長

新年の挨拶



西部方面後方支援隊長

1等陸佐 中村 公多朗



輝かしい新春にあたり、隊員及びご家族の皆様、そして平素より目達原駐屯地に対して深いご理解をいただいております地域の皆様に、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

西部方面後方支援隊は、九州・沖縄地方における「兵站の要」として重要な役割を担っている目達原駐屯地において、九州補給処をはじめとする各部隊としっかりと連携し、災害派遣や国土防衛などあらゆる事態への備えに万全を期すとともに、日頃から地域とのふれあいを大切にし、各種行事や活動に積極的に参加・協力していく所存です。

令和6年度が、皆さまにとって良い年であることを祈念するとともに、変わらぬご支援・ご協力をお願いし、新年のご挨拶いたします。

九州補給処最先任上級曹長 兼ねて
目達原駐屯地最先任上級曹長
准陸尉 川原 祐太郎



新年明けましておめでとうございます。昨年中は駐屯地隊員、ご家族の皆様、そして地域の皆様からご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本年も駐屯地司令を補佐し各隊の最先任上級曹長と連携して駐屯地の規律の維持、部隊間の融和を図り、任務に邁進していく所存であります。また、現代を担う隊員としての責務を完遂し後輩を育成するとともに、我が国の平和と独立を守る自衛官としての使命を果たすため本年も歩み止めることなく前進して参ります。

この一年が皆様に祈りまして幸せと繁栄の年になりますよう心より祈念申し上げます。

発行
令和6年2月
自衛隊目達原駐屯地
〒842-0032佐賀県神埼郡
吉野ヶ里町立野7-1
TEL.0952-52-2161

X(旧ツイッター)



@JGSDF_METABARU
#目達原駐屯地

1月現在
約10,500
フォロー中!

「フォロー」
「いいね」
お願いします。

「駐屯地X(旧ツイッター) 発信中!」
目達原駐屯地隊員の訓練
行事・災害派遣情報など、
満載!是非ご覧下さい。
ホームページ



第1戦闘ヘリコプター隊長
1等陸佐 薄井 一



西部方面ヘリコプター隊長
1等陸佐 溝部 保徳



第4飛行隊長
2等陸佐 東田 優吾



鳥栖燃料支処長
2等陸佐 竹井 一寿



新年明けましておめでとうございます。新年あけましておめでとうございます。本年も支処一丸となって各種任務を完遂すべく取り組んで参りますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

西部方面管制気象隊第1派遣隊長
3等陸佐 高垣 叙也



第321基地通信中隊長
3等陸佐 船津 孝成



第134地区警務隊目達原派遣隊長
1等陸尉 塩浦 謙太



映像写真小隊空中伝送班長
2等陸尉 鈴木 慎平



新年明けましておめでとうございます。本年も引き続き即動態勢を維持するとともに「方面総監等の目」となるべく任務を遂行し、方面隊の任務達成に貢献して参ります。本年も引き続き宜しくお願い致します。

第41代九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令 佐藤 将補 着任



九州補給処は、令和5年12月22日(金)、目達原駐屯地において、第41代九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令 佐藤洋陸将補の着任式を行いました。佐藤将補は、着任の辞において佐藤将補は、統率方針「責務の完遂」、要望事項「前進」「プロ意識の保持」の下、「皆さん一人ひとりが「南西の兵站の要である九州補給処の隊員」であるという誇りと自覚を堅持し、それぞれの職責を果たして、想像力を働かせながら課題解決に向けて努力してほしい。」と訓示しました。九州補給処及び目達原駐屯地は、これまでの歴史と伝統を継承しつつ、佐藤陸将補の統率の下、始動しました。

【紹介】 さとう ひろし
 ○氏名 佐藤 洋
 ○出身地 山形県
 ○期別 防衛大学校37期
 ○主要経歴
 平成25年 7月 陸上幕僚監部人事部人事計画課企画班長(市ヶ谷)
 平成27年 8月 第6後方支援連隊長(神町)
 平成29年 8月 西部方面総監部人事部長(健軍)
 平成31年 4月 補給統制本部装備計画部長(十条)
 令和3年10月 東北方面総監部幕僚副長(仙台)
 令和5年12月 現職



施設巡視



儀仗を受ける処長



集合写真



状況報告

統率方針
 「責務の完遂」
 要望事項
 「前進」
 「プロ意識の保持」

令和6年能登半島地震に対する災害派遣



入浴所の開設



葉隠の湯(上:男風呂、下:女風呂)



駐屯地を出発する派遣部隊

令和6年元旦に発生した能登半島地震により、北陸地方に甚大な被害が発生しました。この災害に対し、西部方面後方支援隊は第106補給大隊及び第106全般支援大隊等からなる入浴支援隊を編成し、令和6年1月5日(金)、災害派遣のため石川県向け目達原駐屯地を出発しました。派遣部隊は、石川県能登町において入浴所を開設し、多くの被災者に対し入浴支援を実施中です。

目達原駐屯地創立69周年記念行事



記念式典



観閲飛行



航空機装備品展示

目達原駐屯地は、令和5年12月3日(日)駐屯地創立記念行事を行いました。今回は「再び以前の記念行事の状態に復帰させた上で、更に充実・発展した行事を興行」することを目標として「再興」をスローガンに掲げ、記念式典、観閲飛行、祝賀会食、オスプレイを含む装備品展示、車両体験搭乗、模擬売店、音楽演奏及びバルーン体験搭乗等の各種イベントを実施し、地域住民の皆様楽しんでいただきました。記念式典においては、観閲部隊指揮官以下約400名の隊員が整列する中、観閲官竹内陸将補(前駐屯地司令)が、「目達原駐屯地所在の隊員においては、西部方面隊の目標である「実力の進化」、「地域の理解」、「個人の尊重」を一層強化して、地域の皆様に更なるご理解とご協力が得られるよう引き続き誠心誠意尽力してもらいたい。」と述べました。当日は、約4,600名の方々が来場され、盛会の内に行事を終えました。

九州補給処

令和5年度軽武装走競技会



一斉にスタートする隊員達



見事優勝した富野弾薬支処

九州補給処は、令和5年12月12日(火)、目達原駐屯地内において、軽武装走競技会を実施しました。本競技会は、昭和46年から毎年実施されている九州補給処の伝統競技で、各隊員は軽武装(鉄帽・水筒装着)で指定の3kmコースを激走し、その時間を各部・各支処の平均記録で競う団体の部と、個人の部で行われました。各隊員は、団体優勝を目標として、日々練成に励み、競技会に臨みまし。本年度は、富野弾薬支処が優勝し、電計課の7連覇を阻止しました。

第1戦闘ヘリコプター隊

「国内における米海兵隊との実動訓練」(RD23後段)

第1戦闘ヘリコプター隊は、令和5年10月17日(火)から29日(日)の間、令和5年度国内における米海兵隊との実動訓練(※RD23後段)に参加しました。※RD・レゾリュート・ドラゴン訓練により、日米共同で作戦を実施する際のヘリコプター火力戦闘及びFARP(燃料弾薬再補給点)に係る能力向上を図るとともに、航空調整所、ターゲットインテグレーション調整所及び第8師団司令部における連絡幹部等としての幕僚活動に係る練度向上を図りました。



日米共同FARP



オスプレイを掩護するAH-64D

西部方面後方支援隊

第105補給大隊

「RD23後段（レゾリュート・ドラゴン）」

西部方面後方支援隊第105補給大隊は、令和5年10月中旬から下旬にかけて実施されたレゾリュートドラゴン23（西部方面隊と米海兵隊の共同訓練）において、沖縄本島の米軍施設及び日出生台演習場に展開するとともに、各種補給品の日米共同荷役及び輸送等の兵站にかかる共同訓練を実施し、米海兵隊との連携を強化しました。また、有事の際に米軍の重要な戦力となる即応予備自衛官も本共同訓練に多数参加し、常備自衛官と一体となり兵站の実効性向上を図りました。



日米共同輸送におけるBFの様子（キャンプ・キンザー）



陸自の水タンク車から米軍の消防車へ給水している様子（日出生台演習場）

第103弾薬大隊

「部隊新編以来初の訓練評価受け」

西部方面後方支援隊第103弾薬大隊は、令和5年10月13日（金）から10月15日（日）までの間、曾根及び山田訓練場において令和5年度第103弾薬大隊訓練評価を受検しました。本訓練評価では、平成31年部隊新編以来初となる訓練検閲に準ずる「訓練評価」として即応予備自衛官18名とともに受検し、「島嶼展開師団に対する弾薬補給に任ずる部隊の行動」を訓練課題として、統裁官要望事項「妥協なき任務の完遂」「管理の万全」のもと指揮幕僚活動、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作に関してその進歩向上を促すことを目的として実施しました。参加した即応予備自衛官からは「2夜3日の連続状況下で大変だったのが貴重な経験ができた」との所見を多く得る等、日頃の練成訓練の成果を十分に発揮し常即一体の戦力化につながった大変有意義な訓練となりました。



即応予備自衛官に目標を指示する隊員（山田訓練場）



フォークリフトによる弾薬の運搬（曾根射場）

西部方面ヘリコプター隊

「西部方面ヘリコプター隊体育競技会」

西部方面ヘリコプター隊は、令和5年12月14日（木）、目達原駐屯地において体育競技会を実施しました。

本競技会は、全隊員対象の3000m走並びに各隊の抽選及び選抜による駅伝走の三部構成で競い合い、日頃の練成の成果を十二分に発揮するとともに、隊員同士の切磋琢磨により、多くの隊員が自己ベストを更新する等、大いに盛り上がりました。競技会を通じて、戦闘員として必要な基礎体力の向上はもちろんのこと、一層の団結強化を図りました。

今後も、強化された団結を基盤に、任務遂行に邁進します。



3000m走



駅伝走

第4飛行隊

「第4師団長初度視察受け」

第4飛行隊は、令和5年11月21日（火）、戒田第4師団長による初度視察を受けました。幹部挨拶、状況報告及び施設巡視等を実施し、防衛警備、災害派遣等の部隊の任務遂行能力について現状等を確認して頂きました。引き続き北部九州4県を担当する師団飛行隊として、「即動必遂」のため日々訓練に邁進する所存です。



記念撮影



施設巡視（ホイスト）

西部方面管制気象隊



「駐屯地気象観測巡回指導（対馬）」

西部方面管制気象隊第1派遣隊の気象特技者により、対馬警備隊の隊員に対して気象観測指導を実施しました。

多種多様な任務に即応できるよう、管制気象隊はあらゆる地域（離島等）の気象状況を収集しており、より正確かつタイムリーな気象現況を把握するために各駐屯地等から管制気象隊へ気象現況が通報されています。今回の気象観測巡回指導において、観測員の知識及び技能を向上することができました。

派遣隊は、今後益々、飛行部隊の任務達成及び航空安全確保に邁進します。



観測した気象現況の記入要領についての教育風景



現地の観測要領について教育する気象特技者

第321基地通信中隊

「令和5年度 方面総監直轄部隊訓練検閲」

第321基地通信中隊は、令和5年10月18日（水）から10月23日（月）までの間、令和5年度方面総監直轄部隊訓練検閲を受検しました。中隊長要望事項である「必通」のもと強靱かつ冗長性のあるシステム通信組織を構成・維持・運営するとともに、これまでの訓練成果を発揮し、各種事態に対する指揮幕僚活動及び部隊行動を整齊円滑に実施し「優良」の成果を収めるとともに、方面隊の作戦に必要な通信の確保に寄与することができました。



態勢完了報告



交換機の補完準備

西部方面システム通信群本部中隊

「令和5年度 後期駐屯地保全旬間」

後期駐屯地保全旬間

空中伝送班は、令和5年11月27日（月）から12月8日（金）までの間、令和5年度後期駐屯地保全旬間において隊員の保全意識の高揚及び各種保全に関わる点検を実施しました。隊員の保全意識の高揚を図るため、保全に関する標語及びポスターの作成を実施するとともに、保全に関わる点検として、保全に関わる各居室の点検を実施して異状等ありませんでした。

今後も隊員の保全意識を高く堅持し、情報流出防止に努めて参ります。



官給品パソコン検査



私有教範点検

4師団長感謝状を受賞



左：戒田4師団長、右：山口氏

佐賀県東部地区防衛協会女性部 会長 山口好子氏は、令和5年9月30日（土）、福岡駐屯地において、第4師団長から感謝状を贈呈されました。

定年退官者及び予定者

25日	西後支 九	西後支 九	西後支 九
15日	佐佐 2	佐佐 2	佐佐 2
7日	山本 加藤 晴三	内田 貴樹	竹内 綱太郎
1日			
22日			
12日			

二十歳の記念行事

駐屯地は、令和6年1月12日(金)に「駐屯地二十歳の記念行事」を実施しました。
 今年の二十歳成人者は23名(男性13名、女性10名)で、多くの成人者の御家族、来賓者及び陪列者と駐屯地の隊員の参加を得て盛大に行事を挙行しました。

二十歳成人代表の第1戦闘ヘリコプター隊西3曹は、行事での祝辞等に対する答辞として「不撓不屈の精神をもって、ここにいる仲間たちと助け合い、何事にも立ち向かって参ります。」と述べました。

また、各成人者は、「果敢」「謙虚」「成長」など、一人一人が抱負を威光威厳ある堂々と発表しました。



二十歳隊員集合写真



抱負を発表する二十歳成人者



家族との記念撮影

二十歳の抱負



西部方面後方支援隊
 第106全般支援大隊
 坂本 夕奈
 成人者としての自覚を持ち、立派な大人になりたいです。



西部方面後方支援隊
 第106全般支援大隊
 大畑 あかり
 自信を持って沢山の方に貢献できるように、自ら学び経験に活かしていきます。



西部方面後方支援隊
 第106全般支援大隊
 久保田 一輝
 主体性を身に着け、成人として胸を張れるよう精進していきます。



西部方面後方支援隊
 第106全般支援大隊
 菅原 璃穂
 成人として自覚と責任感を忘れず、業務に邁進していきます。



西部方面後方支援隊
 第106全般支援大隊
 中山 歩香
 成人者としての自覚を持ち、責任を持って行動していきたいです。



西部方面隊支援隊
 第106全般支援大隊
 宮本 弥侖
 日々努力し、謙虚な姿勢で邁進いたします。



西部方面隊支援隊
 第106全般支援大隊
 永山 由依
 感謝の気持ちを忘れずに、責任感を持って過ごします。



西部方面支援隊
 第103弾薬大隊
 新明 昌樹
 射撃圏内の目標をすべて制覇し、人間的に極太になります。



西部方面後方支援隊
 第103弾薬大隊
 吉田 虎白
 「日々精進」一日一日を大切にひた向きに努力する。



第1戦闘ヘリコプター隊
 秋山 美咲
 人として、成長するとともに積極的に業務に取り組めます。



第1戦闘ヘリコプター隊
 西 幸多
 何事にも挑戦する心を忘れず、日々の努力を怠らないよう心掛けて頑張っていきたいと思えます。



西部方面ヘリコプター隊
 ファドリケアラギントレイナ
 成人として、また自衛官としての自覚と責任を持ち、謙虚な姿勢で日々精進していきます。



西部方面ヘリコプター隊
 杉尾 旺哉
 成人としての自覚と責任を持ち、初心を忘れることなく日々精進していきます。



西部方面ヘリコプター隊
 行野 彪悟
 感謝の気持ちを忘れずに、更に飛躍を目指して邁進していきます。



西部方面ヘリコプター隊
 久原 駆
 成人としての自覚と責任を持ち、部隊に貢献できるように頑張っていきます。



第4飛行隊
 吉村 和桜
 大きな節目を迎え、多くの事に挑戦したいと思えます。



第4飛行隊
 中ノ森 翔太
 新成人としての自覚と責任感を持ち、周囲から信頼される大人になります。



第4飛行隊
 山口 練也
 これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、自覚を持って何事にも積極的に挑戦します。



第4飛行隊
 山口 倫太郎
 大人としての自覚と責任感を持って、自衛官として頑張ります。



第321基地通信中隊
 阿比留 萌
 自分の行動に責任を持ち、日々努力し謙虚な姿勢で頑張ります。



第321基地通信中隊
 草野 和
 私の成人の抱負は邁進です。自信を持って物事に挑戦します！



二十歳成人者 成人おめでとう!